
空のお姫様

セカンドカラー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空のお姫様

【Nコード】

N9271L

【作者名】

セカンドカラー

【あらすじ】

ちよつとわがままな女の子のお話

私は世界の姿を知らない。

私が世界と距離を置いたのは産まれてから間もない頃。唯一記憶にあるのは青く晴れた、雲一つ無い空。

あの空の美しさは鮮明に覚えてるわ。抜けるような青がどこまでも続いていたの。誰にも汚される事の無い青。私はそれを閉じ込めようと決めて視界を閉ざした。だから今も私の瞳にはあの青空が広がっているの。

あの日から十三年。

私の視界は黒に覆われている。

私の楽しみはあの高くて澄んだ空を思い出す事だけ。目を開けば、あの日見た空は失われてしまう。私の宝物が奪われてしまう。それは考えるだけで寒気がしちゃうわ。

私、黒い世界は嫌い。

でもそれは仕方のない事だと私は思うの。それはもちろんあの青空の為だからね。

だから私は一人では何もできないの。どうやって暮らしていけばいいのかわからないの。パパとママがいないと生きていけないの。

パパは私にご飯を食べさせてくれる。スプーンで一口づつ、ゆつくりと。けれど時々熱いままのスープを食べさせようとするの。私が熱いよって怒るとパパはごめんね、って言って私の頭を軽く撫でてくれる。その瞬間はね、うん、嫌いじゃないわ。

ママは私をお風呂に入れたりお洋服を洗ったりしてくれるわ。私、水のように冷たいお風呂が好きなの。だって熱いのって我慢できないんだもの。冬は冷たくも熱くもないお風呂じゃなきゃ嫌なの。ママはその辺りちゃんとわかってくれるから大好き。あ、けれどお洋服の趣味はどうなのかな？私はそれを知らないから少し心配。けれど、きつとママなら大丈夫だと思うわ。

パパとママは大好き。私の瞳にある空の次に好きかな。恥ずかしいから言わないけどね。

でも最近、なんだかパパとママの様子が変わなの。私は一人じゃ何もできないのは二人とも知ってるの。なのに、私を一人ぼっちにするの。黒い世界に私だけ残される。これがどれだけ寂しいかわかるかしら？きつと誰にもわからないわ。私の気持ちはそんなに簡単にわかるほど軽くないんだから。

それでね、パパとママが私を一人ぼっちにした後は絶対、ごめんね、って言うてくれるんだけど、パパだけとかママだけとか、二人一緒じゃないの。ケンカでもしたのかな？なんて思ったけれど、どうにも違うみたいなの。なんていうのかしら、優しい声なの。少し震えてるんだけど、甘い声。そう、オレンジ色のイメージだね。その声を聞いたら、私何も言えなくなっちゃうの。

そんな日がしばらく続いて、私もそれに慣れちゃったから、そんなに怒ってないの。もちろん寂しいわよ。でも、私ももう子供じゃないんだから、我儘なんか言わないって。偉いでしょ？

けどね、今日は違うの。

パパもママもいないの。

もう二日も私一人ぼっち。

お腹も空いてるし、身体もベタベタしてる。冷たいお風呂に入りたいし新しいお洋服に着替えたい。私だけじゃできないのに。

どこへ行ったの？パパ、ママ……。私を一人にしないで……。

その時ね、なんだか目を開かなきゃって思ったの。理由なんかないわ。直感かもしれないし、神様が耳元で囁いてくれたのかもしれない。

いいえ、違うわ。きつとあの青空が教えてくれたんだと思う。根拠なんかない。理由なんかない。でもそうなの！

あの青空が目を開けてごらん、って言ったの。私はそれに従う事に躊躇いはなかったわ。だって理由なんかは言わなくてもわかるでしょ？

もう私の宝物じゃなくなっちゃうけど、仕方ないよね？

きつと今、目を開けないと私絶対に後悔するから。それぐらいわ

かるわ、子供じゃないんだから！

だからね、私ゆっくりと目を開いたの。

太陽の光が眩しい。刺すよう視界を金色が覆う。目を開けてなんか
いられないじゃない！いたい。痛い！イタイ！もう目を閉じちやい
たい。でも、仕方ないじゃない！目を開けないとパパとママを探せ
ないじゃない！

パパ、どこ？

ママ、どこなの？

……ごめんね、パパ。ママ。
私、二人の顔わからないわ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9271/>

空のお姫様

2010年10月20日19時11分発行